

10月 ピッコロだより



【 10月の活動 】 状況に応じた行動を考える／合図から相手の気持ちを汲み取る

月	火	水	木	金	土
					1 こんなとき どうする？ (学校で困った時)
3 こんなとき どうする？ (学校で困った時)	4 こんなとき どうする？ (学校で困った時)	5 こんなとき どうする？ (学校で困った時)	6 こんなとき どうする？ (学校で困った時)	7 こんなとき どうする？ (学校で困った時)	8 こんなとき どうする？ (みんなで解決 方法を考える)
10 やす 休み (スポーツの日)	11 こんなとき どうする？ (みんなで解決 方法を考える)	12 こんなとき どうする？ (みんなで解決 方法を考える)	13 こんなとき どうする？ (みんなで解決 方法を考える)	14 こんなとき どうする？ (みんなで解決 方法を考える)	15 せいさく 製作 (パチンコ射的を 作ろう)
17 これって どんな合図？ (色々な合図を知る)	18 これって どんな合図？ (色々な合図を知る)	19 これって どんな合図？ (色々な合図を知る)	20 これって どんな合図？ (色々な合図を知る)	21 これって どんな合図？ (色々な合図を知る)	22 これって どんな合図？ (色々な合図を知る)
24 これって どんな合図？ (合図を出す練習)	25 これって どんな合図？ (合図を出す練習)	26 これって どんな合図？ (合図を出す練習)	27 これって どんな合図？ (合図を出す練習)	28 これって どんな合図？ (合図を出す練習)	29 これって どんな合図？ (合図を出す練習)
31 せいさく 製作 (パチンコ射的を 作ろう)	※中学生の活動 ・10/8 (土)～自分の気持ち、相手の気持ち ・10/22 (土)～運動をしよう				

※専門職の来所日は下記の通りになります。

- ・公認心理師(松本)：1日(土)、15日(土)、17日(月)、19日(水)、20日(木)
- ・言語聴覚士(永山)：3日(月)～8日(土)、11日(火)～13日(木)
- ・理学療法士(樋口)：ニポポ、我路



(今月の主な活動) その場の状況に合わせて行動する／合図から相手の気持ちを汲み取る

ねらい：状況を理解し、適切な行動する／ことば以外での伝達方法を理解する

☆さまざまな日常場面を想定したロールプレイングを行いながら、その場の状況に応じた適切な行動を考え、実践します。

<こんなときどうする？>

☆ことば以外で相手に意思を伝達するジェスチャーや行動等の方法について実際に知り、相手のジェスチャーや行動から気持ちを汲み取れるよう練習します。

<これってどんな合図？>

★お知らせとお願い★

- ・登園時間は、平日 16 時 20 分まで、土曜日（午前）10 時 20 分まで、（午後）13 時 50 分までをお願いします。
 - ・お迎えは、平日 17 時 20 分～18 時の間、土曜日（午前）11 時 50 分～12 時 10 分の間、（午後）15 時 20 分～15 時 40 分の間をお願い致します。また、お迎えの際は引き続き 20 分前に番号札を準備しますので、来所された順に取ってお待ちいただき、引継ぎ開始時間になりましたらインターホンにてお知らせください。
 - ・提出書類につきましては、保護者の方より職員へ直接お渡しください。
 - 【キャンセル待ちについて】
 - ・キャンセル待ちの受け入れの連絡は、平日は当日の午前中まで、土曜日は前日までにトリアより連絡をさせていただきます。連絡がない場合は受け入れが難しい為、ご了承ください。
 - 【欠席連絡について】
 - ・平日は 16 時以降、土曜日（午前）当日 9 時 30 分以降、（午後）13 時以降の欠席連絡となりますと、おやつ代（¥60 / 日）をご負担頂きますので、ご了承ください。また、職員不在の際は、留守番電話にメッセージを残しておいてください。
- ※都合により、活動内容が変更になる場合は、入口掲示板にてご案内致します。



こんにちは。作業療法士の大平です。昨年8月に入職し、早いもので1年が過ぎました。日々、子どもたちの純粋さやかわいらしさに癒され、成長に驚かされる毎日です。

私ごとですが、私には2人の息子がいます。2人目の産後に保健師の方から長男の発達の遅れを指摘され、2歳から母子通園の療育施設に通い始めました。長男は9ヶ月から保育園に通園しており、私自身、成長の遅れは気付いていましたが、受け入れたくない思いも強かった時期でしたその後、仕事に復帰し、休みが取れずに療育に通えなくなった時に、保育園の先生から勧められたのが『歩路』で、3年ほどお世話になりました。ふりかえると、仕事と家事に追われ、なかなか子どもとの時間が取れない毎日でした。親子でもうまくコミュニケーションがとれず、公園に行ってもひたすら遊具の周りを走り続け、参観日やイベントでは楽しげな子どもたちの中で、汗だくになりながら号泣している息子を抱きしめながら、自分を責めることも多くありました。朝と夜は時間に追われ「はやく、はやく」と口癖のように言っていた気もします。そんな中で歩路の療育では小集団での丁寧な支援を受け、さまざまな経験をすることができました。当時上手く伝えられなかった歩路での出来事を、今になって話すことがあり、彼にとってかけがえのない3年間だったと改めて感じています。

そんな息子も、現在小学5年生になり、今年の春から、兄弟でソフトボール少年団に入団しました。無駄な動きも多く、決して運動神経抜群とは言えませんが、監督さんは息子の特性を理解し、長所（目で見た情報を記憶して情報を整理できる、超がつくほど真面目、純粋で平和主義）を見極め、キャプテン・キャッチャーという大事な役割を任されています。たくさんほめてやる気を引き出す指導で、息子をはじめ子どもたちは、認められることで調子にのって練習し、どんどん成長しています(笑)。

私の子育ては、周りの方の理解とたくさんのあたたかいサポートをうけてここまでできています。さまざまな場所に子どもたちの居場所を作ること、保護者自身もほっとできる息抜きの時間を持つこと、相談できる誰かがいることが非常に大切だと感じています。私の子育てもまだまだこれからですが、保護者の皆さんの悩みや不安に寄り添いながら、子どもたちの好きなことや得意なことが増えるよう、お手伝いしていきたいと思います。



作業療法士

大平 優希

